

ばあちゃんの手

日新小学校 二年 樋山 葵

わたしのばあちゃんの手はあったかい。たぶん、おかあさんよりもおとうさんよりもおねえちゃんよりもあったかい。それに、ムチムチしている。よそのおばあちゃんの手は、もっとシワシワしているのに。じいちゃんに「もみじまんじゅうみたいだな。」

って言われて、ばあちゃん、おこってる。

ばあちゃんの手が、あったかくてムチムチしてるのなんでだろう。おかあさんは、

「ばあちゃんは、はたらきものできようなんだよ。」

と言う。

わたしのばあちゃんは、りょうりが上手。

ばあちゃんの家に行くと、いつもおいしいごはんが食べられる。わたしが一ばんすきなりょうりは、からあげ。カリッとして、とってもおいしい。

それに、さいほうもとくい。ズボンのひざにあいたあなを上手にぬつてくれたり、うんどうぎにゼッケンもつけてくれる。どこがぬつてあるのかわからないくらい、きれいにぬつてある。なんでもできるばあちゃんの手は、すごいと思う。

ばあちゃんの家からかえるとき、ばあちゃんはいつもわたしたちをぎゅっとしてくれる。わたしのほっぺをぺちぺちして、頭をなでなでして、さいごにタッチ。やっぱりばあちゃんの手はあったかい。そして、とってもきもちいい。

ばあちゃんの手、大すき。
